



## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年7月28日

上場会社名 株式会社ナガワ 上場取引所 東  
 コード番号 9663 URL <https://group.nagawa.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新村 亮  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部 (氏名) 久納 正義 (TEL) 03-5288-8666  
 副本部長

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第1四半期の業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	8,010	—	745	—	1,119	—	742	—
2025年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	47.54	—
2025年3月期第1四半期	—	—

(注) 当社は、2025年3月期第1四半期は連結業績を開示しておりましたが、2025年3月期第3四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2025年3月期第1四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率を記載しておりません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	69,752	62,594	89.7
2025年3月期	69,758	61,672	88.4

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 62,594百万円 2025年3月期 61,672百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2026年3月期の期末配当は、1株当たり60円の普通配当に1株当たり40円の創立60周年記念配当を加えたものとなっております。

## 3. 2026年3月期の業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,000	4.1	2,500	36.2	2,600	21.5	1,800	26.6	115.18
通期	38,000	7.7	5,500	27.9	5,700	18.7	4,000	△5.1	255.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	16,357,214株	2025年3月期	16,357,214株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	730,212株	2025年3月期	729,197株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	15,627,236株	2025年3月期1Q	15,711,907株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料については、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
3. その他 .....	8
(参考) 前第1四半期連結損益計算書 .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当社は、2024年11月29日付けで当社の子会社であったNAGAWA OY CONSTRUCTION Co., Ltd. の清算が終了したことに伴い、前第2四半期累計期間までは連結決算でありましたが、前第3四半期会計期間より非連結決算に移行しました。前第1四半期連結累計期間においては四半期連結財務諸表を作成しておりましたが、上記により前第3四半期会計期間より四半期連結財務諸表を作成していないため、比較分析は行っていません。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円、銭)
当累計期間	8,010	745	1,119	742	47.54
前累計期間	—	—	—	—	—
前年同期増減率(%)	—	—	—	—	—

当第1四半期累計期間（2025年4月1日～2025年6月30日）における我が国経済は、景気は緩やかな回復基調にあるものの、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、今後も緩やかな回復が期待される一方、米国の通商政策の影響による景気下振れリスクが高まっております。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの冷え込みを招き、個人消費に影響を及ぼすことも懸念されるなど、我が国の景気を下押しする要因が散見されております。

このような環境のもと、設備投資に持ち直しの動きがみられることから、展示場の拡充や新規開設への投資を継続するとともに、引続き販売力の強化に注力してまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間における売上高は80億1千万円、営業利益は7億4千5百万円、経常利益は11億1千9百万円、四半期純利益は7億4千2百万円となりました。

セグメント別の概要は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	損益計算書 計上額
	ユニット ハウス事業	モジュール・ システム建築 事業	建設機械 レンタル事業	計		
売上高	6,714	1,108	187	8,010	—	8,010
営業利益	662	86	10	758	△13	745

#### (ユニットハウス事業)

ユニットハウス事業におきましては、販売は常設展示場の増設や価格転嫁、付加価値営業を積極的に推進した結果、前期比で増加いたしました。一方、レンタルは昨年の能登半島地震における応急仮設住宅の対応が終了したことにより減少となったものの、全国の稼働は概ね横ばいで推移しております。

この結果、当事業のセグメント売上高は67億1千4百万円となりました。また、セグメント利益は、6億6千2百万円となりました。

#### (モジュール・システム建築事業)

モジュール・システム建築事業におきましては、既存展示場のリニューアルによるモジュール建築展示場の出店と、民間企業から受注した施設投資案件の完工が順調に進んだことが寄与し、増収となりました。また、現場における原価低減施策の積み重ねにより、利益面でも改善がみられました。

この結果、当事業のセグメント売上高は11億8百万円となりました。また、セグメント利益は、8千6百万円となりました。

#### (建設機械レンタル事業)

建設機械レンタル事業におきましては、北海道南部地域に密着した営業強化により春先から農業土木を中心にレンタル需要の増加がみられたこと、また特殊建設機械の出庫も増加傾向にあり、売上の拡大につながりました。

この結果、事業のセグメント売上高は1億8千7百万円となりました。また、セグメント利益は、1千万円となりました。

(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べ17億5千2百万円減少し、222億2千2百万円となりました。その主な要因は、商品及び製品が4億6千1百万円増加した一方、売掛金が11億6千5百万円、現金及び預金が9億4千6百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べ17億4千6百万円増加し、475億3千万円となりました。その主な要因は、投資有価証券が16億3千2百万円、貸与資産が1億4千3百万円、建物が1億1千万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ5百万円減少し、697億5千2百万円となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べ14億6千万円減少し、50億5千2百万円となりました。その主な要因は、未払法人税等が10億4百万円、買掛金4億5千7百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は、前事業年度末に比べ5億3千3百万円増加し、21億6百万円となりました。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ9億2千7百万円減少し、71億5千8百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ9億2千1百万円増加し、625億9千4百万円となりました。その主な要因は、その他有価証券評価差額金が11億1千7百万円増加した一方、利益剰余金が1億9千4百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は、89.7%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月15日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

なお、今後の見通しにつきましては、引続き検討を行い、業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかに開示するものであります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,433	10,486
受取手形	486	384
電子記録債権	2,014	2,142
売掛金	4,906	3,741
契約資産	435	366
商品及び製品	3,560	4,021
仕掛品	397	355
原材料及び貯蔵品	502	514
その他	238	208
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	23,974	22,222
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産（純額）	14,339	14,483
建物（純額）	3,483	3,594
土地	7,838	7,838
その他（純額）	1,740	1,620
有形固定資産合計	27,402	27,537
無形固定資産	178	163
投資その他の資産		
投資有価証券	17,199	18,831
敷金及び保証金	740	740
その他	263	256
投資その他の資産合計	18,202	19,829
固定資産合計	45,783	47,530
資産合計	69,758	69,752

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,706	2,248
未払法人税等	1,342	337
賞与引当金	277	402
役員賞与引当金	75	18
資産除去債務	2	1
その他	2,108	2,042
流動負債合計	6,512	5,052
固定負債		
長期未払金	24	24
資産除去債務	104	110
繰延税金負債	1,442	1,969
その他	2	2
固定負債合計	1,573	2,106
負債合計	8,085	7,158
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,855	2,855
資本剰余金	9,435	9,435
利益剰余金	48,503	48,309
自己株式	△2,998	△2,999
株主資本合計	57,796	57,600
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,875	4,993
評価・換算差額等合計	3,875	4,993
純資産合計	61,672	62,594
負債純資産合計	69,758	69,752

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

	(単位：百万円)
	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	8,010
売上原価	4,818
売上総利益	3,192
販売費及び一般管理費	2,447
営業利益	745
営業外収益	
受取利息	4
受取配当金	365
受取賃貸料	4
雑収入	4
営業外収益合計	379
営業外費用	
株式報酬費用	4
雑損失	0
営業外費用合計	4
経常利益	1,119
特別利益	
固定資産売却益	0
特別利益合計	0
特別損失	
固定資産処分損	7
特別損失合計	7
税引前四半期純利益	1,112
法人税、住民税及び事業税	357
法人税等調整額	12
法人税等合計	369
四半期純利益	742

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 当第1四半期累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	ユニット ハウス事業	モジュール・ システム建築 事業	建設機械 レンタル事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	6,714	1,108	187	8,010
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	6,714	1,108	187	8,010
セグメント利益	662	86	10	758

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	758
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△13
四半期損益計算書の営業利益	745

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却費は、次のとおりであります。

	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	1,058百万円
のれんの償却費	2

3. その他

(参考) 前第1四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	8,463
売上原価	5,246
売上総利益	3,217
販売費及び一般管理費	2,315
営業利益	901
営業外収益	271
営業外費用	12
経常利益	1,160
特別利益	0
特別損失	11
税金等調整前四半期純利益	1,149
法人税、住民税及び事業税	384
法人税等調整額	△5
法人税等合計	378
四半期純利益	770